

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

平壤国際建築図書展示会開催

2009年8月12日付『朝鮮新報』によると、平壤国際建築図書展示会が8月3日～5日、平壤市内の人民大学習堂（国立中央図書館）で行われた。

同展示会にはロシア、中国、フランス、ドイツ、ポーランド、インドネシアをはじめとする10余カ国から20あまりの代表団が参加し、2006年以降、各国で発行された最新建築科学技術図書5,000点あまりが展示された。展示会を主催した対外文化連絡委員会の関係者によると、展示図書はすべて朝鮮に寄贈されるという。

2012年までに平壤市に10万世帯の住宅建設誓い決起集会

2009年8月12日付『朝鮮新報』によると、平壤市の建設者が2012年までに10万世帯の住宅を建設することを誓い、8月7日、金日成広場で決起集会が行われた。

金英逸首相、崔永林最高人民会議常務委員会書記長と武力機関、勤労者団体、省、中央機関の責任幹部、平壤市内の党、政権、行政経済機関の活動家、建設者、勤労者が集会に参加した。

2009年度版アリラン公演開始

2009年8月22日付『朝鮮新報』によると、大マスゲームと芸術公演「アリラン」の2009年度版公演が8月10日始まった。「アリラン」は毎年、さまざまな場面が修正、改作され、その時々北朝鮮の政策や、社会のあり方を写す鏡となっている。

ERINAによる2009年度版のアリラン視察では、今年の経済政策の目玉である「150日戦闘」の場面や、「朝鮮は世界に向かって進む」などのメッセージが追加されているの

が確認された。

南北赤十字会談開催

2009年8月26日～28日、北朝鮮の金剛山で南北赤十字会談が開催された。同会談の合意文によると、南北離散家族再会事業を9月26日～10月1日に実施することが決まった。南北の面会家族は各100人である。

開城工業地区（開城工業団地）の現状

韓国・統一省は2009年9月1日、開城工業地区（開城工業団地）への南側からの通行が正常に戻ったと発表した。これは、南北関係の悪化を受けて、2009年12月1日に北側が通行の制限措置をとったものが解除された結果である。

8月31日にERINAが行った現地調査では、通行制限解除の前日だったためか、車の通行量は多くなかった。第1段階の本団地の分譲は基本的に終了しており、基盤施設や工場の建設が進んでいた。今後、南北関係が再び好転すれば活気が戻ってくると見られる。ただし、北朝鮮側の予測よりも入居企業の労働者需要が高いため、今後は人材の不足や通勤問題（管理委員会運営のバス以外に、各企業が自前でバスを運営している例も見られた）など、実務的に解決しなければならない問題は案外多いように感じられた。

開城・南北経済協力協議事務所再開

韓国・統一省によると、2009年9月3日、南北朝鮮は、9月7日から開城工業地区内にある南北経済協力協議事務所を再開させることで合意した。同省によれば、同事務所は、2008年12月1日から北側の一方的措置により閉鎖されたものが、正常運営に入るもの。

（ERINA調査研究部研究主任 三村光弘）

